

第 7 回黒須田川流入水路等ダイオキシン類対策本部会議の結果 について

本日、第 7 回黒須田川流入水路等におけるダイオキシン類対策本部会議を開催し、前回以降の調査結果の確認をするとともに、次の事項を決定しましたので、お知らせします。

1 黒須田川流入水路等ダイオキシン類水質調査結果について

平成 15 年度第 2 回目の環境調査を、黒須田川流入水路 5 地点で、10 月 10 日に行いました。その結果は次のとおりであり、前回に引き続き、全て水質環境基準（1 pg-TEQ/L）を下回っていました。なお、図 1 及び図 2 には、各地点の過去の調査結果について、時系列で示しました。

（単位：pg-TEQ/L）

調査地点名	ダイオキシン類濃度
2-1 健康とふれあいの広場右側谷戸からの水	0.79
2-3 上流域合流地点	0.82
3 大伸建設株排水口上流	0.44
6 延命地藏尊バス停下	0.95
9 市境	0.57

2 対策本部の解散について

昨年来、黒須田川流入水路等におけるダイオキシン類対策について対策本部を中心に検討を行い対策を実施してきましたが、次のとおり、一定の成果が得られたものと判断されるため、対策本部は解散することとしました。

黒須田川流入水路及び上流域の水質改善がみられたこと

平成 15 年 4 月及び 10 月と続いて黒須田川流入水路及び上流域の全地点(5 地点)で水質環境基準を下回っています。

「健康とふれあいの広場池」の改善

底質の環境基準を上回っていた「健康とふれあいの広場池」の底質は平成 15 年 9 月に除去及び焼却処分を完了し、11 月には池の埋め戻しを行い、汚染状態は解消しました。

麻生区周辺の大気環境の改善がみられたこと

平成 14 年 8 月以降、10 月、15 年 1 月及び 8 月と続いて全調査地点（16 地点）で大

気環境基準を下回っています。

健康影響調査では、対象となった周辺の住民への影響は特に認められないとの結果が得られたこと

平成 14 年 12 月に、王禅寺地区を中心として概ね 3 k m 以内の地域に居住する住民 59 名を対象として血液中のダイオキシン類調査を実施しました。

専門家会議での検討の結果、改善等が確認されたこと

専門家会議では、環境基準超過の原因究明、環境調査及び健康影響調査結果の評価等を行い、大気・水質環境の改善及び周辺の調査対象者に健康影響がみられないことなどを確認しました。

住民報告会を終了していること

調査の結果等については、市のホームページ等により、逐次公表してきましたが、平成 15 年 6 月には、麻生区及び青葉区で住民報告会を開催し、水質・大気の改善状況及び健康影響調査結果について報告しています。

3 今後の対応について

黒須田川流入水路の水質及び麻生区周辺の大気環境については、連続して環境基準を下回っており、改善が見られています。

今後は、市全体を対象とする定期的な環境調査の一環として、環境の状況について監視を継続します。具体的に平成 16 年度は、黒須田川流入水路の市境で水質を年 2 回、麻生区周辺の 16 地点で大気を年 2 回調査する予定としています。

問い合わせ先

公害部化学物質担当	2 0 0 - 2 5 3 2
大気課	2 0 0 - 2 5 1 5
水質課	2 0 0 - 2 5 1 9
生活環境部廃棄物指導課	2 0 0 - 2 5 9 2
施設部施設課	2 0 0 - 2 5 7 3